

## 『衛星 VDES 実機データによるデモンストレーション』次第

主催： 公財 笹川平和財団 海洋政策研究所  
後援： 海上保安庁  
実施機関： スターヌラ・ジャパン  
Sternula 社、AOS Consortium

### 1. はじめに:

笹川平和財団 海洋政策研究所(以下 OPRI)は、海洋宇宙連携事業として、衛星 VDES を通じて、より安全な航海の実現、並びに国内外向け啓発活動を実施中です。また、この一環で、衛星 VDES 有益性実証事業を展開中です。

来年(2026 年)の国産 VDES 衛星打ち上げに先立ち、現在稼働中の海外 VDES 衛星(2 年前に AOS Consortium が打ち上げた「Ymir-1 衛星」(実機)を利用して、航行安全情報を衛星 VDES 経由で配信するデモを行い、国内関係者向けに有益性に関する情報共有を行うと同時に、国際連携強化に貢献することを期待しております。

尚、今回は、衛星 VDES に関する国内外の有識者向けの実務者会合として実施致しますので、実利用に向けた闊達な意見交換の時間も含めております。

### 2. 日時: 2025 年 11 月 5 日(水) 16:00~18:00 (受付15:30から)

### 3. 場所: 笹川平和財団 11F 国際会議室 (地下鉄虎ノ門 2b 出口から徒歩 1 分) 海外の Sternula 社、AOS Consortium とは、TV 会議並びに現地参加

### 4. 次第:

#### 1) 1600-1605 開会挨拶 (笹川平和財団 海洋政策研究所 所長 牧野光琢)

#### 2) 1605-1640 デモ実施全体説明 (スターヌラ・ジャパン 代表取締役社長 西村浩一)

- ① AOS Consortium、Ymir-1 衛星の説明
- ② デモ実施の背景について  
(何故、S-124航行警報を VDES で配信するのか)

#### 3) 1640-1725 実機データによるデモ (スターヌラ・ジャパン 技術部長 阪井英太)

- ① 衛星を利用した航行支援情報等の同報配信  
(津波情報発信、ミサイル警報、Virtual AtoN への利用を想定したデモ)  
尚、当日は、事前に実機を利用して取得したデータを使用してデモを行います。
- ② 電子海図情報表示装置(ECDIS)への表示

#### 4) 1725-1755 質疑応答:

- モデレータ: スターヌラ・ジャパン 代表取締役社長 西村浩一
- 質疑応答参加者:
  - ・AOS Consortium:  
Saab TransponderTech AB Technical Director Peter Bergljung、  
NET 参加者
  - ・経済安全保障 VDES チーム(Kプロ)  
アークエッジ・スペース 海洋ソリューション部 渡川真規  
IHI 宇宙システム事業準備室 向後憲治
  - ・日本船舶技術研究協会(JSTRA)  
日本船舶技術研究協会 参与 野口英毅

#### 6) 1755-1800 閉会挨拶 (海上保安庁 参事官 川越功一)

(補足: 閉会後~1830 は、10F 談話室にて懇談可能です)

(註) AOS Consortium (AAC Clyde Space, ORBCOMM Inc. and Saab)